

令和5年度 シラバス

学年	教科	教材
2年	国語科	・教科書 国語2（光村図書） ・副教材 学習漢字ノート2（浜島書店） ・国語便覧（浜島書店） 国語の学習2（明治図書） ・つまづかない文法の学習（新学

1. 学習の目標

- ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけるとともに、話しことばを豊かにしようとする態度を育てる。
- ・他者の考えや主張を積極的に受容し、自らと異なる立場の主義主張を尊重できる態度を育てるとともに、その主張の本質を的確に捉える能力を育てる。
- ・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- ・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

2. 学習の方法

- ・授業はみんなで一緒に作りあげるものです。積極的に楽しく参加しましょう。
- ・提出物や宿題は必ずやり遂げ、期限までに提出できるようにしましょう。
- ・ノートは自分のためのものです。後から見直ししやすいよう、メモをとるなど工夫して書きましょう。
- ・漢字は自分でコツコツと学習することが大切です。繰り返し書いて覚えましょう。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト・漢字小テスト・書写の作品など
思考・判断・表現	定期テスト・小テスト・スピーチ・作文など
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、授業への取り組み方、提出物の状況など

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	見えないだけ	・表現の工夫や語句の意味に注意し、自分の経験と結び付けて内容を捉え、朗読する。	・自分の経験と結び付けて、朗読することができる。
	アイスプラネット	・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 ・登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。	・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。
5	枕草子	・作者のものの見方や感じ方に触れる。 ・自分が感じる四季の趣と比べて、読み味わう。	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。
	漢字1 熟語の構成	・熟語の構成にはさまざまな種類があることを知る。	・熟語に関する知識を広げることができる。
6	クマゼミ増加の原因を探る	・文章の構成や展開について、理解を深める。	・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。
	短歌に親しむ 短歌を味わう	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・歌の内容について、知識や経験と結び付けて読み深める。	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	文法への扉1 単語をどう分ける？	・自立語について、分類の観点や各品詞の性質などを学ぶ。	・自立語の分類や品詞の性質など、文法について理解を深める。
7	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	・多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する。 ・収集した情報を、図や記号などを用いて整理し、伝えたいことを明確にして書く。	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
	言葉1 類義語・対義語・多義語	類義語・対義語・多義語について、理解する。	・類義語・対義語・多義語について理科し、言葉の幅を広げることができる。

	言葉の力	・本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
9	盆土産	・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。	・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
	字のない葉書	・文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考える。	・表現に着目して人柄や心情を読み取ることができる。
	言葉2 敬語	・敬語の働きや種類を理解する。	・敬語を適切に使うことができる。
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	・同じ訓をもつ意味や、文脈での使い分けを知る。	・同音異義語の使い分けを理解することができる。
10	モアイは語る ――地球の未来	・意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。	・文章の構成や論理の展開について考えることができる。
	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	・「平家物語」の冒頭部分を音読し、言葉の響きを楽しむ。	・古典の言葉の響きを楽しみながら朗読することができる。
	扇の的 ――「平家物語」から	・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
11	仁和寺にある法師 ――「徒然草」から	・登場人物の行動に着目し、作者のものの見方や考え方について考える。	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	・目的や場面に応じて、社会生活の中から題材を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。
12	君は「最後の晩餐」を知っているか	・文章の構成における具体と抽象の関係を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える。	・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。
	「最後の晩餐」の新しさ	・文章で使われている比較の効果を理解する。	・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	・動詞の形の変化について考え、活用形と活用の種類、形容詞・形容動詞の活用について理解する。	・動詞の活用と活用の種類・形容詞・形容動詞の活用について理解することができる。
1	走れメロス	・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品を読む。	・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
2	漢詩の風景	・漢詩に歌われている情景を想像し、いにしえの人の心情に触れる。	・観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。
	文法への扉3 一字違いで大違い	・助動詞・助詞の意味・用法について知る。	・助詞・助動詞の意味・用法を理解することができる。
	言葉3 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の違いと、それぞれの言葉の特徴を考える。	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。
	漢字3 送り仮名	・送り仮名の付け方と原則・例外を理解し、練習問題で理解を深める。	・送り仮名の付け方と原則・例外について理解を深めることができる。

3	木	・作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。	・詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	学習を振り返ろう	・復習問題に取り組む。	・身につけた力を確認することができる。